

# 第122号 ふれあいのまち つるかぶと

発行所 鶴甲ふれあいのまちづくり協議会  
〒657-0011(鶴甲小学校内)  
神戸市灘区鶴甲2丁目10-1  
TEL 078-822-8709

発行者 野田比奈 TEL 078-843-0884

編集者 広報部 TEL 078-822-8709

印刷所 イバ紙器印刷工業所  
TEL 078-231-5735  
神戸市中央区琴ノ緒町1-2-229

鶴甲小学校の絆 = 大月台・篠原台・水車新田・鶴甲・六甲台



**人と町が豊かになる夏祭り**

鶴甲小学校長 酒井秀幸

7月22日に本校運動場において恒例の夏祭りが開催されました。当日は朝から三十度を超える暑さでしたが、昼過ぎからテントの設置や各団体による屋台の設置、諸表示や野外ステージ設営のための椅子出しなど、額の汗を拭いながら来場者を迎える準備が行われました。少しでもお手伝いをさせていただきただけですが、作業をされている方々の段取りがとてもよく、長年にわたってふれあい夏祭りを自分たちが仕切ってきたという矜持が伝わってきました。

夏祭りの内容は、六つの模擬店や各団体によるゲーム、ピエスエンジェルウクレレクラブによる演奏や盆踊り、夢☆チャンスによる素敵な歌声と演奏など、盛りだくさんでした。開始時刻より前からたくさんの方々が運動場に集まっています。それぞれの場所談笑しながら夏祭りの開始を待っていました。そして16時、野田委員長の開幕宣言の後、打ち上げ花火の合図で夏祭りが始まりました。開始直後は小学生の子供たちがかき氷の入った器を持って動き回っていたので

ですが、時間の経過とともに家族連れの姿が目立つようになってきました。そして、野外ステージでの演奏が始まる頃には座席は満席で、運動場にも人が溢れていました。中には「久しぶり！」と手を握って喜び合う同窓会のような場面も見られました。あつという間の二時間でしたが、閉幕を告げる蛍の光が流れても、名残りを惜しむ来場者の姿もあり、大成功に終わったひとときでした。

地域の活性化と言われながらも、人と人とのつながりが希薄になってきている昨今、夏祭りのような活気のある行事は町を豊かにします。町が豊かになれば、そこに住む人の心が豊かになります。学校・家庭・地域の三者が真ん中に子供たちを据えて豊かに関わり続けることで、子供たちもまた心が豊かになり、鶴甲の町への愛着が深まると信じています。

最後になりましたが、このような催しを開催するにあたって、ふれあいのまちづくり協議会の皆様をはじめ、多くの方々に大変ご尽力をいただきました。末筆ながら心よりお礼申し上げます。

## ふれあい運動会-2024-鶴甲

10月26日(土) 9:30~12:30 雨天中止

場所: 鶴甲小学校 校庭

●オープニングセレモニー: 特別出演「tetteキッズダンサーズ」

1. 風船わり競争
2. 借り物競争
3. 親子ダンス
4. 大玉ころがし
5. おやつをゲット
6. 踊り
7. 水消火器レース
8. かけっこ
9. 玉入れ
10. リレー

◎出場は、9時から受け付けます。希望の種目を申し込んでください。

◎賞品(一等賞・参加賞)あり。

★飲み物(お茶)の販売をします。

★後片付け・校庭清掃にご協力ください。

主催: 鶴甲ふれあいのまちづくり協議会



## HOMECOMING DAY

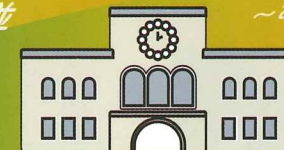
# 2024

10月26日(土)開催!

神戸大学六甲台キャンパス  
他にて開催!

振り返れば六甲の山並

~あの頃の友に会いたい



### 社会科学系図書館見学

登録有形文化財の付属図書館資料展  
時間: 11:00~17:00  
場所: 社会科学系図書館

### ハロウィン企画・屋台

こども向け企画!! 仮装して、みんなで楽しもう!!  
時間: 10:00~17:00  
場所: 六甲台キャンパス

### 丹波篠山・黒豆販売

農業ボランティア「にしき恋 Farm」特産  
時間: 11:00~ なくなり次第終了します  
場所: 出光佐三記念六甲台講堂前/前庭

### 神戸大学史特別展

「1995.1.17 - 神戸大学震災犠牲者の追憶 -」  
時間: 9:30~17:00  
場所: 百年記念館1階展示ホール

### 災害ボランティア写真展

現地で活動してきた13年間の活動内容を展示  
場所: 出光佐三記念六甲台講堂前/前庭

一般の方も参加いただける企画や神戸大学オリジナルグッズ販売もあります。ぜひお越しください!!



神戸大学 ホームカミングデイ

主催 神戸大学

共催 神戸大学校友会 KU-Alumni

担当: 神戸大学企画部卒業生・基金課  
TEL 078-803-5022

お知らせ

ゆうゆう喫茶

10月22日(火)

10時~11時半



参加費: 100円

### 編集後記

夏まつりはたくさんの方々特に多くの子ども達が参加してくれて大盛況でした。ブースによっては大変混雑し迷惑をおかけしましたが、地域手作りのイベントであり、お手伝い頂いた方々も懸命に対応してのことですので、ご容赦いただけてますと幸いです。

9月17日の神戸新聞夕刊に「ブナを植える会」(桑田結会長)が、25年前六甲山に植樹したブナの木に初めて実が確認されたという記事が大きく掲載されました。ちようどブナの植林前の頃、ブナを植える会の活動について鶴甲地域福祉センターであった説明会?に子供と一緒に参加し、ハチ高原?での植樹(バスで参加した記憶が蘇りました。一緒に参加した子も親となり私にも孫ができたこの年月にブナの木もゆっくりと成長を続け結実した嬉しい報告でした。山へ行かないと!(宇都宮)



**地域安全の絆 鶴甲つながりの手**  
**事業報告** 顧問 飯井教道

「鶴甲つながりの手」は発足8年を迎えました。構成団体委員、および一般から支援者として登録してくださった方々には訓練、要援護者見守りなどご参加いただき有難うございます。

要援護者台帳を神戸市から貸与され第1回目2017年(平成29年)要援護者数は264名、支援者数は119名、第2回目2019年(令和元年)要援護者数は321名、支援者は135名でした。2023年末時点で要援護者は235名に減少しました。これは転居、施設に入居、お亡くなりになられたのが主な理由です。

2020年からはコロナ騒動のため予定していた訓練など中止になり、要援護者に関する活動も中断されました。

2023年5月になって5類感染症に移行されようやくケガの応急手当訓練、安否確認訓練など以前の活動に復することが出来ました。

2024年度はコロナ禍の3年間の空白期間、要援護者の身体状況の推移を把握して適

うことでした。地域の皆さんが、外注するのではなく自前で露店を出すのは、大変な労力が要ると思います。日本の地域活動が強いボランティア精神で支えられていると学びました。ある女性スタッフの方は、子供たちの笑顔が自分への褒美、と言われていました。僕たちもブースを手伝いながら、その褒美をたくさん受け取りました。

そして忘れられない思い出は、盆踊り。浴衣を着た皆さんに混じって、僕らブラジル・中国・インドネシア・フィリピン・ウズベキスタンの留学生も輪になって踊りました。鶴甲に独自の『鶴甲音頭』があるのは驚きです。地域の多様性を大切にす

るのが日本の文化だと知り、同時に、故郷への思いは世界共通と思えました。豊かに稲が実るように、と願う盆踊りの歌詞を知って、インドネシア留学生が、母国と同じだと目を潤ませていました。たとえホームシックになっても、鶴甲を故郷と捉えて、これからも勉強を続けます。

切な活動に備えたいと、要援護者とマッチングしている支援者にも、直接お会いして調査をお願いしました。大変なご苦勞をお掛けしました。結果は次のとおりでした。

調査期間：5月～6月  
 要援護者：235人から190人に減少  
 主な理由：死亡23名、施設へ入居16名、転居6名。

その他入院中：3名、連絡の取れない不明者：17名でした。身体状況については、歩ける、歩みにくい、歩けない、見える、見えにくい、見えない、聞こえる、聞こえない、聞こえない、聞こえないについてそれぞれ調査しました。総数で36名の方が1ランク進行していました。特に歩けない人が3名増えました。(6+3)

常に要援護者の身体状況を把握しておくことの重要性を痛感しました。また、個人情報保護の風潮が強化される現在、要援護者とのつながりについても考えさせられた今回の調査でした。支援者の方々有難うございました。

その他の事業は6月15日(土)AEDによる心肺蘇生法講習会を鶴甲地域福祉センターで開催しました。参加者30名。また、第3回要援護者調査を神戸市にお願いしました。

現要援護者の方々には登録を忘れないようご注意ください。

この原稿を書いているさなか8月8日午後4時12分宮崎県沖の日向灘を震源とするM7.1の地震があり日南市で震度6弱を観測しました。気象庁は「南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)」を発表しました。

私たちは予測不能な事象に対処することは何かを考え実行しなければなりません。災害時初期支援について、「鶴甲つながりの手」の活動にご参加ください。

**鶴甲総合防災訓練報告**  
 鶴甲防災福祉コミュニティ

9月22日(日)鶴甲北公園で防災訓練が開催されました。準備段階から雨が降り始め、雨天の中、一部プログラムを取りやめ決行されました。同時開催で神戸大学留学生の「防コミサポーター」によるパネル展示と防災カルタも実施され、防災カルタはそれぞれの留学生が母国で起こった災害で体験した防災に係わる大切な言葉をキーワードとして学生が抽出しカルタが制作されており、パネルと共に勉強できる工夫がされた興味深いものでした。

防災かるた



防災訓練の様子

**鶴甲つながりの手についてQRコードでご確認ください**

<p>鶴甲つながりの手とは</p>	<p>設置要綱</p>	<p>支援マニュアル</p>
-------------------	-------------	----------------

**日本の地域文化に触れて**  
 神大国際防災ゼミ留学生 レアンドロ・ガルバナセ

わたしはブラジル出身ですが、この夏の日本の暑さはアマゾン級に感じられました。7月20日に開催された鶴甲夏祭りは、蒸し暑さを吹き飛ばすように、子供たちから高齢者まで大勢が集まって盛り上がり、日本の地域活動に触れる楽しい機会になりました。準備から片付けまで、地域の皆さんの協力体制がすばらしく、感動を覚えました。

僕たち神大国際防災ゼミの留学生がお手伝いさせていたのは、民生委員児童委員協議会さんのヨーヨー釣りのブースと、鶴甲連合自治会さんのカレーライスのブースです。紙漉りでヨーヨーを釣る難しさは、わたしたちの母国にはない遊びで、子供たちと一緒に自分もハマりました。カレーライスは手作りの母の味。神戸市の職員さんたちも、うまいうまいと食べて帰られました。鶴甲は、さまざまな団体が協力し合って地域を盛り立てている、行政として高く評価していると

うことでした。地域の皆さんが、外注するのではなく自前で露店を出すのは、大変な労力が要ると思います。日本の地域活動が強いボランティア精神で支えられていると学びました。ある女性スタッフの方は、子供たちの笑顔が自分への褒美、と言われていました。僕たちもブースを手伝いながら、その褒美をたくさん受け取りました。

そして忘れられない思い出は、盆踊り。浴衣を着た皆さんに混じって、僕らブラジル・中国・インドネシア・フィリピン・ウズベキスタンの留学生も輪になって踊りました。鶴甲に独自の『鶴甲音頭』があるのは驚きです。地域の多様性を大切にす

るのが日本の文化だと知り、同時に、故郷への思いは世界共通と思えました。豊かに稲が実るように、と願う盆踊りの歌詞を知って、インドネシア留学生が、母国と同じだと目を潤ませていました。たとえホームシックになっても、鶴甲を故郷と捉えて、これからも勉強を続けます。

**ふれあい夏祭り**  
 神戸大学 児童文化研究会 中野

鶴甲ふれあい夏祭りに参加させていただき、ありがとうございます。私たちは主に鶴甲子ども会さんと一緒に活動することが多いので、こんな風に地域全体でのイベントへの参加は新鮮でも楽しかったです。浴衣を着ている子どもたちや家族で来ている人たち、運営として駆け回っている方々みんな笑顔で活気があつて、お手伝いに来たはずなのに逆に元気をもらってしまいました。私自身は飲み物の屋台を手伝わせてもらったのですが、夏祭りのラムネがもつ魅力は悪魔的です。ビー玉を落とすのも普段使わない形の容器も非日常的で子どもでも大人でも遊び心がすぐられるのを禁じ得ないなと思いました。ラムネや駄菓子、かき氷の屋台は小さいころ行った地元のお祭りのわくわく感を感じ出して子どもに戻った気持ちになりました。秋には運動会、そしてまた来年の夏祭り、他にも機会があ

れば是非一緒に活動させていただけたらなと思いましたが、ありがとうございます！

**防犯からのご報告**  
 青木 智津子

6月25日、地域福祉センターで、灘警察署生活安全課・藤井正孝さんを講師に迎え、ふれあいポリス山崎さんにもご参加頂き、防犯研修会を開催しました。

今年になって灘区内では高齢者3名の交通事故があり、いずれも横断歩道の無い所を横断しての事故です。大変危険なので横断歩道を必ず渡って下さい、とのことでした。

今回も還付金詐欺、架空料請求詐欺、サポート詐欺などの特殊詐欺についてスライドを見ながら説明して頂きました。特殊詐欺のほとんどは、固定電話機にかかってくるので、着信前に自動音声で警告する機能と、通話時に自動で録音する機能が2つが備わった固定電話機や外付け機器

**コールセンター**

0570-083-330  
 または  
 078-333-3330

申請期間  
 2024.04.01  
 -  
 2025.01.31

2024/06/25